

主管課 市民経済部 生活環境課

目指す姿

ごみの適正な分別や再生可能エネルギー設備の導入などにより、地球環境への負荷を低減した資源循環型のまちを目指します。

目標指標

No	指標名	現状値 (2021)	目標値 (2027)
1	市民一人一日当たりのごみ排出量(年)	724.0g/人・日	690.0g/人・日
2	再資源化率	14.0%	19.8%
3	不法投棄件数(年)	32件	22件
4	公共施設での温室効果ガス排出量(年)	6,217.5t-Co2	4,228.6t-Co2

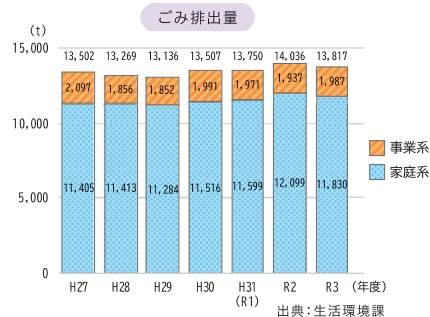
現状と課題

2020年に「2050年カーボンニュートラル*」が宣言され、経済界など各分野の団体などを巻き込み、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする政策が打ち出されました。日本全体では、革新的なイノベーション*により、温室効果ガスの排出量を2030年までに26%削減、2050年までに80%削減を目指すこととなっています。

本市でも、2020年に「ゼロカーボンシティ*共同宣言」を发出し、温室効果ガスの排出量の削減に向けて、公共施設への再生可能エネルギー*設備の導入などの取組を推進しています。

一方で、温室効果ガスの削減や循環型社会の形成には、市の取組である「公助」だけでなく、市民・団体・企業などの「自助・共助」の取組も不可欠です。近年では、3R*(リデュース、リユース、リサイクル)の推進などの機運が高まっており、市民と市が協働*で取り組むことが大切です。

また、ポイ捨てや不法投棄などにより適正に処分されず、海に流れ込むことで海洋汚染や生態系に深刻な影響を与える海洋プラスチックが世界的な問題として取り扱われています。市民一人ひとりがごみの削減や適正な処分に関心を持ち、問題解決に取り組むことが重要です。



キーワード

循環型社会 再生可能エネルギー* 環境負荷低減 ゼロカーボンシティ* 3R* 不法投棄防止 ごみ削減



関連計画 環境基本計画 一般廃棄物処理基本計画 など

取組方針

ごみ分別の推進

市民にごみの適正分別を推進し、リサイクル率を向上させることで、ごみの処分量の削減を図ります。

不法投棄の防止

不法投棄は早期発見、早期対応が重要であるため、市民と市が協働*し一体となって監視することで、不法投棄をさせないまちを形成します。

再生可能エネルギーの導入

ゼロカーボンシティ*実現に向けて、公共施設などへの再生可能エネルギー*設備の導入を推進します。また、施設の改修時には、省エネルギー設備の導入検討を行います。



公園で寝転がる兄弟(みらい写真)



太陽光設備(富士見ヶ丘小)



太陽光モニター

わたしたち市民にできること

- 家庭内で環境問題(ゼロカーボン*など)について話し合います。
- 節電を心がけます。
- ごみの正しい分別や削減で3R*に取り組みます。
- 食べ残しをなくし、食品ロスを減らします。
- マイバッグ・マイ水筒を利用します。

